

善意に拍手

西森 律（後免町）

今から書くことは、某小学校卒業式の謝恩会の席上、PTA会長さんがなさつたごあいさつの一こ

までです。

某月某日、会長さんが所用を終え、高松方面から帰る途中、池田付近で一人の青年が手を上げました。話を聞くとその青年は、広島からヒッチハイクで四国一周をしているのだとのこと、帰り道なので早くその青年を同乗させました。

行き先を聞くと桂浜に宿をとることでしたら、日暮れでもあり、会長さんは空室があるかどうか心配で、その宿に電話をしました。やはり空室がないという返事だったので、そのまま南国市の会

長さん宅へ連れて行き、青年を閉んで家族みんなで夕食をとり、泊まらせてあげたそうです。

その青年は、今春高校を卒業、就職が決まっており、ヒッチハイクで四国一周を計画し、それをやり遂げようとしたようです。ちょうど会長さん宅にも同じくらいの

お子さんがおられます。夕食をと

りながらみんなでこの青年と語り

うと、とても話が合つたと喜んでおられ

ました。

翌日、会長さんはその青年を桂

浜まで送り届け、励まして帰られ

たそうです。

会長さんは、「謝恩会にはふさ

わしくないかもわかりませんが」

と前置きされて、淡淡と以上のこ

とを話されました。

席が私の前でしたので、話が終

わって座られたとき、私が「そ

の後青年から連絡がありましたか

がありました」と言われ、私は本

と聞くと、「ちゃんとお礼の電話

がありました」と言いました。

さらに、「不安はありませんで

したが」とお聞きしますと、「と

ても礼儀正しく、しっかりと青

年でした」と答えられました。

私がこのことをなぜ書こうと思

ったのでしょうか。一人の青年を

車に乗せ、自分の家に連れて行き、

食事をして一泊させ、翌日目的地

に連れて行つたというただそれだ

けの事実と言えばそれがそ

れまでかもわかりま

せん。しかし、この

ことを私に置き換えて

てみたとき、見ず知

らずの青年にここまで

でできたかどうかと

ても疑問です。恐らく

く私はできなかつ

たでしよう。

現在は、「隣は何

をする人ぞ」式で、

できるだけ他人のこ

とは我関せずの風潮

であり、自分のこと

だけで手いっぱいです。まったく見す知

らずの青年で、しか

も通りすがりの道となると、誰も

が見過ごすと思います。

私は、この善意に対して青年

からお礼の電話があつたことが大

きな喜びでした。今日は人の善意

を踏みにじるようなことが多々あ

りますが、きっとこの青年は人生

の目的に向かつてがんばり、会長

さんより受けた善意を忘れずに、

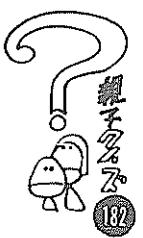
人の善意に感謝し、自分自身も善

行を積んでいくと思います。

あわせて、会長さんのとられた

行動のすばしさに心より拍手を

送ります。



182

ほのほの広場

▼ 投稿先・〒789 南国市
大浦甲二三〇一 南国市役所内広
大浦委員会委員会

内広報委員会まで。

山岡久通（里改田）

第181回当選者発表（応募総数26通）

■ 答え・激励会

■ 当選者＝五人

天田健久（大浦）

大崎通子（大浦）

平田朝美（大浦）

松野下幸治（大浦）

山岡久通（里改田）